

令和6年度 園自己評価表

社会福祉法人 清香会

園名 千駄ヶ谷りとるばんぷきんず

園は常に質の高い保育が求められている。

そのために自己評価を通し保育の専門性を見つめる機会として評価を実施し、さらなる保育の向上を目指していく。

【評価指標】

- A … 適正
- B … 一部検討を要する
- C … 改善を要する

【評価内容】

1、保育理念・目標・計画・評価

内容	評価	意見・改善策
保育所保育指針と保育理念・目標の関係を理解し、全体の計画を作成している	A	保育所保育指針や全体的な計画をもとに、子ども一人ひとりを大切にしたい保育計画を作成している。 毎月のクラス会議で、職員間の意識統一しながら保育を提供している。 振り返りを通じてPDCAを意識した改善を行い、組織テーマと園テーマを保育と結びつけている。 多様な経験を通じて子どもたちの成長を支えている。
全体の計画に基づいた具体的な指導計画を作成している	A	
多様な保育需要に対して地域や保育所の特性を考慮した柔軟な計画を作成している	A	
各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢にあった指導計画・個々の発達にも留意したものを作成している	A	
保育士は自らの保育実践を振り返り評価し専門性の向上や改善に努めている	A	

2、保育内容

子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう必要な事項に配慮して保育をおこなっている	A	子どもの発達や家庭状況を理解し、個々に合わせた対応を行っている。 行事は前年度の反省や保護者の意見を活かし、日常の保育と繋がりのある内容にしている。 サークルタイムで子どもの意見をくみ取り、主体的な参加を促している。 多様な経験を通じて子どもたちの成長を支える取り組みを行い、保育の質をさらに向上させている。
子どもの気持ちを理解し信頼関係を築いている	A	
子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に勤めている	A	
身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣など、総合的に多面的に子どもの状態を把握している	A	
行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	

3, 園の組織・役割分担

内容	評価	意見・改善策
豊かな集団の育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている	A	法人研修や園内研修を実施し、職員の専門性や人間性の向上を図っている。年2回、防災センターと連携して火災・地震の訓練を行っている。ビルの救命救急研修や消火訓練を活用しながら知識を深めている。BCPや安全計画の見直しを行い、職員間で共有している。
保育に関わるさまざまな知識や技術の向上に努め研修に参加し、自己研鑽を積んでいる	A	
全職員は施設内外の環境維持向上に努め、安全策の共通理解や体制づくりに努めている	A	
職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	A	
火災・地震・不審者侵入などの危機管理に努めている	A	

4, 家庭・地域社会

家庭と連携を図るように努めている	A	子育てイベントでは園のLINEで配信をし、より多くの地域の方に周知できるようにしている。近隣のお店などに掲示物の依頼をして、新しい参加者も増え入園に繋がっている。日頃の様子は、ブログや動画を作成し、保護者に発信している。
関係機関と連携を図っている	A	
地域や保護者の意見を施設運営に反映している	A	
地域の子育て家庭に対し情報発信をしている	A	

5, 事務管理・運用

個人記録簿は適切に記載し整理保管している	A	個人情報や会計関係の書類は事務所の鍵付きの棚に保管している。また守秘義務について、職員研修を行っている。
職員に園内で知りえた事柄に対しての守秘義務の周知徹底をしている	A	
各種会計を適正かつ適切に処理している	A	

6, 情報発信

園だより、クラスだより、給食だより、ホームページなどで施設の情報を発信している	A	園だより・ブログ・登降園管理システムを使用し、園での様子が分かるように発信している。また行事の際に、過程がわかるような動画や写真で説明し、園の取組みに理解を得るようにしている。
---	---	--